



12月ほけんだより

感染性胃腸炎に注意しましょう

感染性胃腸炎はノロウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状がみられ、発熱する場合があります。吐物や便にはウイルスが含まれているので、家庭でも二次感染予防のため、処理する際は注意しましょう。

ウイルス性の胃腸炎ではウイルスへの特効薬はないため、つらい症状を軽減するための処置(対症療法)で回復を待つしかありません。吐き気がおさまったら脱水症状にならないよう、少量ずつこまめな水分補給をしましょう。

嘔吐物の処理

マスクなどを
着ける



おう吐物を
中央に
集める



使った後は、新聞紙は
素早くポリ袋へ

- ① 使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などで嘔吐物を周辺からふき取る

窓を開けて
換気する



目地に入ったおう吐物もふき取る

次亜塩素酸ナトリウム(6%原液)を300倍に薄めた液*



- ② 次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)を薄めた消毒薬で嘔吐物のあった部分を再度拭く。



ポリ袋は二重にする

- ③ 汚れたものはすべてポリ袋に入れ、消毒薬をかけてから密封して捨てる。



- ④ 嘔吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分以上つけてから洗濯する。



- ⑤ 最後にせっけんで30秒以上しっかり手を洗い、うがいをする。

🌸 保育園であそぼう 🌸

★12月16日(火)
10:00~11:00
園庭であそぼう
を予定しています。

